

2022年度 通常社員総会 報告

今号の表紙

環境市民 25周年の際に、高月紘先生が書き下ろしてくださったイラストを、30周年でも再利用しています。

2022年総会開催

6月21日(火)に会場と、オンラインによる2022年度通常総会を開催しました。

目次

2021年度活動報告と決算報告

2022年度活動計画と予算

その他

topics30周年

会費納入とニュースレター発行時期について



作 ペンネーム ハイムーン氏

環境市民の一年

2021年は、パリ協定に復帰したアメリカが新たなGHG削減目標を気候サミットで発表するなど、脱炭素化へさらに大きく前進する政策が世界で注目され約束された年でした。

環境市民では、日本の政策と世界のグリーンニューディールの比較や、自分たちの暮らし（足元）と気候変動政策・持続可能な地域づくりとのつながりを、どのように捉えて考え、何を実践するのか、少しでも伝えられることがあるのではないかと、環境市民の理事を講師の中心に据えてオンラインセミナーを実施し、日本全国からの参加者を得ることができました。オンラインの利点を活かした結果です。また、対面での講座として毎年実施している6回連続の環境活動パワーアップ講座を行うことができました。講師派遣依頼もコロナ禍ではありましたが、昨年度よりも若干増やすことができ、動きにくい時期でも積極的に実施したオンライン活動による効果も現れてきていると感じます。

また、環境市民が大切にしている理念が大きく生かされたアドボカシー活動も京都で展開しています。未だ続くウクライナへの武力侵攻に対しても、いち早く他団体とともに反対の声をあげました。他にも世界で起きている民主主義を傷つけ環境も未来も破壊する行為には、今後もしっかりと声をあげていかなければならないと考えています。

他にも、さまざまな団体や人とのコミュニケーションに変化をもたらしたこの時代だからこそ、これまではなかった環境市民の新しいパンフレット（その場でワークショップができる広報コミュニケーションツール）が完成しました。ご協力いただいた皆さんに、心から感謝いたします。

2022 年度通常社員総会報告

6月21日(火) 18:20~20:20、ハートピア京都(京都市中京区)とオンラインにより2022年度通常総会を開催しました。社員が39人のうち、14人が出席、議長への表決委任14人、書面3人で総会が成立しました。

1.活動報告と活動計算について

<2021年度 活動報告>

■エコシティをつくる

- ① 持続可能な地域創造ネットワーク
- ② 気候変動に対する適応策を地域ですすめる事業(環境首都創造NGO全国ネットワーク)

■経済をグリーンする/豊かなライフスタイルを創造する

- ① 「持続可能な消費者」推進(消費から持続可能な社会をつくる市民ネットワーク 企業のエシカル通信簿、ぐりちよ)
- ② SDGs 実体化及び CSR サポート
- ③ 環境マイスター研修認定制度推進事業
- ④ グリーンウォッシュ防止・環境コミュニケーションの推進
- ⑤ 水 Do! キャンペーン/Refill ジャパン
- ⑥ 3R+aの推進(京都市ごみ減量推進会議との連携)
- ⑦ 自然エネルギー学校(気候ネットワーク、京都グリーンファンド、京都市環境保全活動推進協会とのパートナーシップ活動)
- ⑧ 原発のない社会をつくらう!プロジェクト
- ⑨ パワーシフトをすすめる活動

■エコロジカルな次世代を育む

- ① 連続オンラインセミナー(SOMPO 環境財団助成金)
- ② エコスクール(FEE Japanとの連携)
- ③ 環境活動パワーアップ講座(京エコロジーセンター)
- ④ 学校環境共育サポート(ノートルダム女学院中学高等学校)
- ⑤ 講師派遣事業
- ⑥ SOMPO 環境財団CSOラーニング事業(インターン受入)
- ⑦ 環境省事業ローカルSDGs人材育成地方セミナー(ESD-Jへの協力)

■市民の発信で世界を変えよう

- ① ニュースレター発行
- ② 電子かわら版(メールニュース、ウェブ、SNSでの発信)
- ③ ラジオ「環境市民のエコまちライフ」番組制作
- ④ 環境市民チャンネル(YouTube)「えしかる荘へいらっしやい」

■組織強化とNGO、市民力の強化

- ① 組織基盤の強化とイノベーション 新パンフレット作成
- ② 環境NGO/NPOの全国的ネットワーク・プラットフォーム「グリーン連合」の運営サポート
- ③ あどぼの学校
- ④ 持続可能な社会づくりのために、民主主義社会と平和を大切に
する活動
ロシア軍によるウクライナ侵攻への抗議 共同声明
「気候変動対策・施策におけるジェンダー平等の推進を求める声明」
賛同

topics

30周年。。。

1992年7月18日。ブラジルのリオデジャネイロで地球サミットが開催されたその年、「環境市民基金設立準備会」として環境市民がスタートしました。

団体名である「環境市民」には、「こういうNGOでありたい」という思いがこめられています。それは、特に環境問題に対して、社会的に自立した行動と責任を取り、他者への依存的な要求や非難の行動よりも、率先して実践と提案を行う、いわゆる「市民」が集う場でありたいという思いです。

今回新たに作成したパンフレットにも、<「環境のために何かしたい」という人が自然と集う場となりたい>というメッセージが詰まっています。



信州・開田高原エコツアーは秋以降に実施

設立当初からお世話になっているフィールドソサイエティの久山代表の協力を得て、30周年記念「開田高原エコツアー」を7月末に予定していましたが、新型コロナ第7波の影響で、やむなく延期をすることになりました。

時期をずらして、再度、会員の皆さまに呼びかけます。素晴らしい自然環境のもと、本物の豊かさに出会えるエコツアーです。それまで、楽しみにお待ちください。

<2021 年度 活動計算書>

(収入の部) 単位：円

入会金・会費収入	1,129,000 円
寄付収入	703,297 円
助成金収入	200,000 円
事業収入	1,736,870 円
その他収入(受取利息他)	326,501 円
当期収入合計	6,395,668 円

(支出の部)

事業費	3,133,221 円
管理費	3,978,802 円
当期支出合計	7,112,023 円
当期収支差額	-716,355 円

* 収支が大幅マイナスとなっている主な原因は、例年依頼のある研修事業（環境マイスター、自治体）がコロナ禍で中止が続いていることから収入減となった。

2.活動計画および活動予算

<2022 年度 活動計画>

* 主な活動内容と新たに加わるプロジェクトを紹介します。

■ エコシティをつくる

- ① 持続可能な地域創造ネットワーク
持続可能な地域の指標づくりに取り組みます。

■ 経済をグリーンする／豊かなライフスタイルを創造する

- ① 市民目線の中小企業者サステナビリティ自主調査推進プロジェクト
(地球環境基金助成金事業) ★新規プロジェクト
企業のエシカル通信簿のベースになっている調査票を活用し、中小企業者が自社のサステナビリティをチェックしわかりやすい情報提供により、地域住民とともに地域のサステナビリティを高めていくためのプロジェクト。初年度は、秋田県、長野県、滋賀県を候補地として、プレ調査・研修を実施します。
- ② 持続可能な消費(消費から持続可能な社会をつくる市民ネットワーク)
2022 年度の企業のエシカル通信簿は食品メーカーが調査対象となります。
- ③ 自然エネルギー学校・京都
「今日からはじめる脱炭素経営—中小企業・大学でできるカーボンニュートラル」をテーマにオンラインで実施します。

■ エコロジカルな次世代を育む

- ① 連続オンラインセミナーをブックレットに (SOMPO 環境財団助成金)
2021 年度に実施したオンラインセミナーの講演内容をまとめてブックレットにし、より広い皆さんに手に取っていただけるようにします。

■ 市民の発信で世界を変えよう

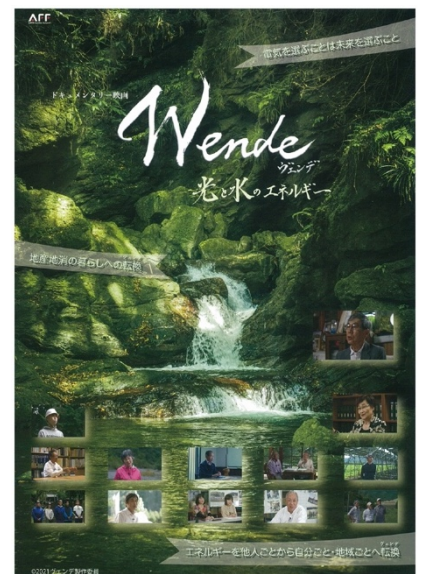
- ① 環境市民チャンネル (YouTube) 「えしかる荘へいらっしゃい」
次回作は、プラスチックさんをゲストに迎えて、ぐりにゃんが根掘り葉掘り話を聞き出します。↗

映画上映会

環境市民が企画段階からお手伝いした、自然エネルギーをテーマにした映画
「Wende(ヴェンデ)光と水のエネルギー」。

Wende (ヴェンデ) とはドイツ語で大改革を意味し、原子力・化石燃料から自然エネルギーへと転換する、ドイツにおけるエネルギー革命の意味でも使われる言葉です。この映画の自主上映会を関西広域小水力利用推進協議会と一緒に開催します。

* 自主上映会も開催できます。



と き 2022 年 10 月 10 日 14 : 30 ~
と ころ ひと・まち交流館 京都 (京都市)
入 場 料 会員は無料、一般 500 円
申 込 み 環境市民まで

~~~~~

<2022 年度 活動予算>  
(収入の部) 単位：円

|           |             |
|-----------|-------------|
| 入会金・会費収入  | 1,126,000 円 |
| 寄付収入      | 7,00,000 円  |
| 助成金収入     | 3,500,000 円 |
| 事業収入      | 8,924,000 円 |
| その他 (雑収入) | 1,000,020 円 |
| 当期収入合計    | 9,924,020 円 |

(支出の部)

|     |             |
|-----|-------------|
| 事業費 | 6,162,600 円 |
| 管理費 | 4,587,000 円 |

|        |              |
|--------|--------------|
| 当期支出合計 | 1,0749,600 円 |
| 当期収支差額 | -825,580 円   |



